

All Japan Educational Model United Nations



United Nations
General Assembly
1st Committee (DISEC)

EIGHTIETH UNITED NATIONS GENERAL ASSEMBLY FIRST COMMITTEE

A/80/1/WP.x

Agenda item: AI と軍事 (AI and the military)

2025年8月4日

Sponsor: Australia, Austria, Italy, Libya, Norway, South Africa, South Korea, Synia, Turkey, Ukraine, United Kingdom, and Venezuela

第80回国連総会第一委員会は、

生成 AI による被害は世界中で拡大しており、早急に解決すべき懸案事項であることを認識し、

生成 AI という脅威に直面する今、対話を積み重ね、国境を超えた行動を起こす必要があることを確信し、

LAWS の開発が世界中で加速し、事態の悪化に歯止めがかからない状況を心配し、

世界に存在する LAWS の正確な規模が示されていないことを遺憾に思い、

人間の最終判断なしに攻撃できてしまう状況を非難し、

民間人までもが多大な被害を受けている現状を遺憾に思いながら言及し、

AI の誤作動に対する責任の所在について明確になっていないことを不安に思い、

責任の所在をより明確にする必要があることを再確認し、

責任の所在に関する事実確認の難しさを考慮し、

違反した国、開発者に対して制裁をかけることを強く望み

被害発生時の制裁措置について議論を行うことを重要視し、

新たな機関の設立が重要であると確信し、

1. 生成 AI に関しては使用自体に以下のような規制を設けるべきであり、全世界が足並みを揃えて問題解決に努めることが重要であることを強調する：
 - a. 虚偽情報や偽装コンテンツの生成禁止,
 - b. 暴力・差別・ヘイトを助長する内容のコンテンツの生成禁止,
 - c. なりすましの生成禁止,
 - d. 軍事・司法分野における AI による自律的な意思決定の禁止,
 - e. 著作権侵害につながる学習・出力の禁止,
 - f. AI の思考回路の透明化を規定する;
2. 各国に対し、生成 AI の使用にあたっては出典の明記を義務付け、画像や動画の生成においても作成元の表示を徹底するための法整備を推進するよう要請する;
3. 各国に対し、LAWS の生産数の上限を国際的に統一することを促す;
4. 各国に対し、生産および使用の各段階での記録を義務づけ、有事の際に速やかに提出するよう強く要請する;
5. AI による軍事兵器の最終判断は人間が行うことを国際的に統一することを強く促す;
6. 各国に対し、以下のような、攻撃してはいけない条件等について明確に定めることを依頼する：
 - a. 病院やシェルターなどの民間人が避難している場所,
 - b. 主要産業の本社やその国の中心となるビジネス拠点が集まっている主要都市;
7. 各国に対し、原則としてさまざまな段階の人が責任を負うべきであることを確認する：
 - a. 開発者,
 - b. 利用者,
 - c. 提供者,
 - d. 国家;
8. 以下のように責任の所在を明確にしていくことを推奨する：
 - a. L 国際的に統一した生産数より多く生産し、その兵器による攻撃が確認できた場合は例外として、開発者が責任をとることとする;
9. その責任を明確にするために主文の 5 を徹底することが必要であると断言する;
10. 各国に対し、新たに設立した機関で以下のような制裁をかけていくことを確認する：
 - a. 利用者,
 - i. 罰金や懲役,
 - ii. 経済制裁,
 - iii. 相手方への支援,
 - b. 開発者,
 - i. 工場の操業停止,
 - ii. 罰金;
11. 既存の機関では不十分であることに注目し、新たな機関を設立することを奨励する;
12. 新たな機関には以下のような権利を持たせることを要請する:

- a. この場で合意された事項は、参加国に対し履行を義務とする,
- b. どの段階にどのくらいの制裁を設けるのかのジャッジメントを義務とする
- c. LAWS または生成 AI による被害が発生した際には、被害国の要請に基づき、連合軍の派遣および国際的な合同調査の実施を可能とする.